

## 戦争と平和

古堅中学校3年 知念瞳

なぜ戦争は起こるのだろうか。

なぜ罪のないたくさんの人々が死ななければならぬのだろうか。

たくさんの人々が死に何の得があるのだろうか・・・

私は思う。

なぜ戦争はおこるのだろうか。

私が今たっているこの大地は63年前、冷たく残酷な戦争が死んだ人々で埋めつくされていた。

建物も木も花もない。

無邪気に走りまわる子供たちや虫を追いかけはしやぎまわる動物もいない。

あの冷たく残酷な戦争は63年前の平和をまたたく間に消し去った。

軍の勝手で国民が巻き込まれ殺され・・・  
国の勝手で国民が巻き込まれ殺され・・・  
人々は苦しみがき死んでいった。

私は思う。

戦争で苦しんでいた人達はどう思っていたのだろうか。

私がもし63年前に生まれていたのなら  
生きる事が分からなくなったと思う。  
生きる事より死ぬ事を望むと思う。

だけど今あるこの沖縄が平和なのは63  
年前に起きた戦争に耐えて生きてくれたお  
じい、おばあのおかげなんだ。

今あるこの時間を精いっぱい生きよう。  
この世に生を与えてくれたおじい、おばあ  
に感謝しよう。

そして平和がいつまでも続くように・・・  
これから戦争が二度と起きないように・・・  
みんなで願おう。  
みんなで望もう。  
ずっとずっと戦争がない世の中に・・・  
ずっとずっと平和で幸せな世の中に・・・